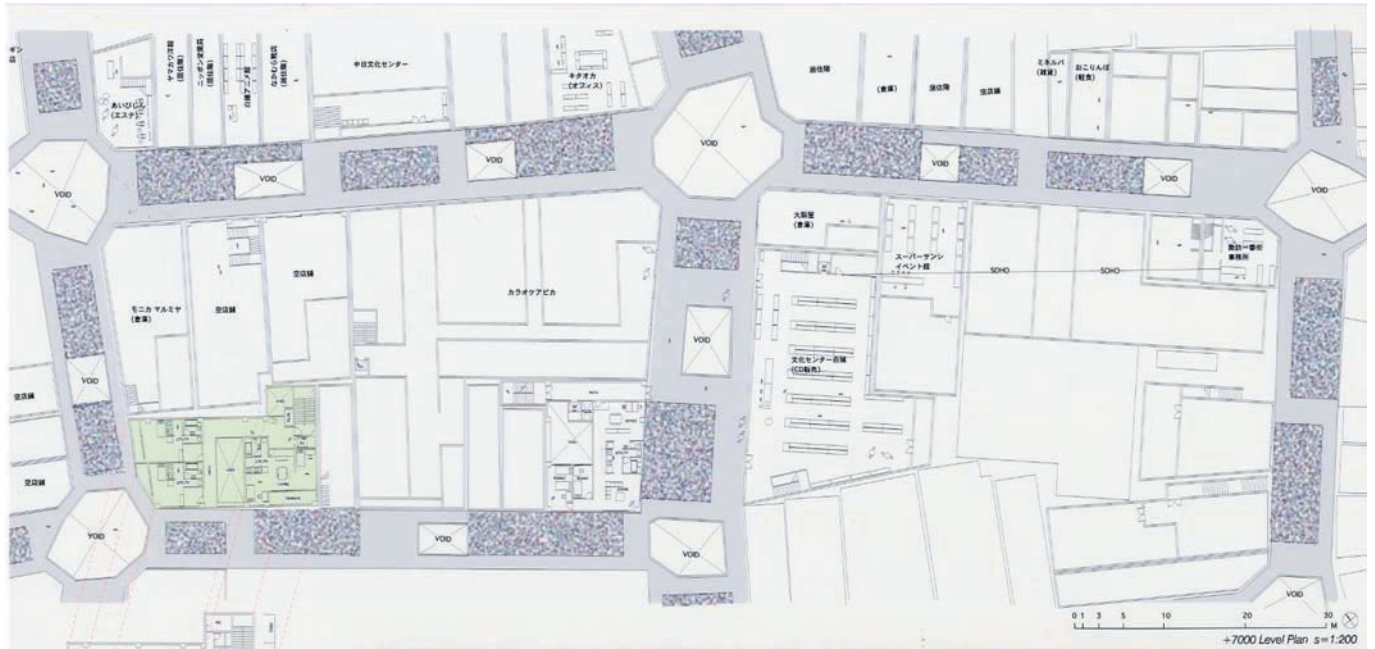


「街の庭、街の居間」 400740 村井 一



+7000 Level Plan s=1:200

商店街としての一体的空間を創りだしてきたアーケードは、しかしその上下の空間的透断によって3階以上の空間的ポテンシャルを著しく下げることとなっている。ここでは、新設するアーケードの上部をデッキとすること、空きスペースの目立つ建物の上階部を居住スペースに用途変更することを試みている。

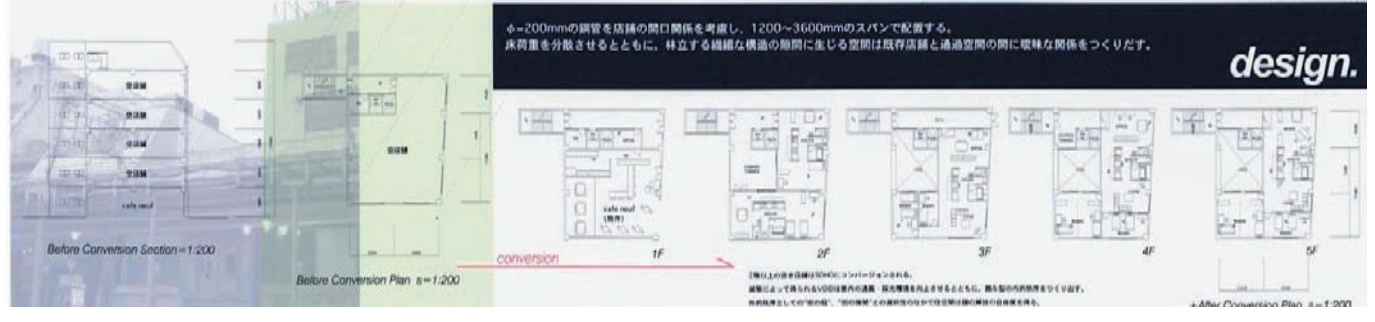


2階以上の空き店舗はSOHO、ワークスペースなどにコンバージョンされる。
 商業空間のVOIDは高の空間を創ることで広く、開放的なコンバージョンによってバスとして
 将来的には活用されることも念頭にしている。



+10000 Level Plan s=1:200

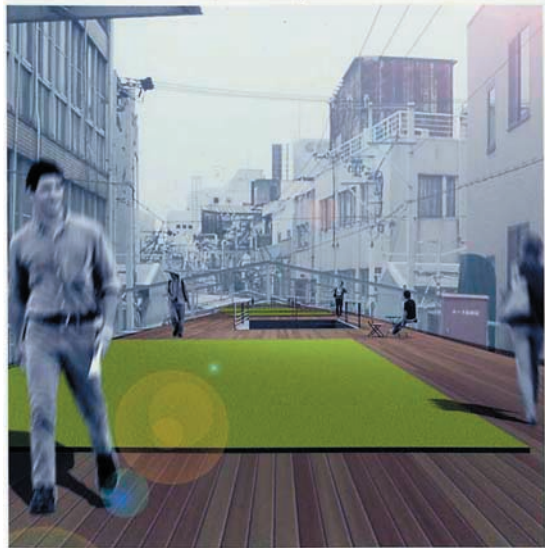
φ=200mmの鋼管を筋鉄の開口間隔を考慮し、1200~3600mmのスペンで配置する。
 床荷重を分散させるとともに、林立する繊細な構造の趣向に生じる空間は既存店舗と通過空間の間に独特な関係をつくりだす。



2階以上の空き店舗はSOHO、ワークスペースなどにコンバージョンされる。
 商業空間のVOIDは高の空間を創ることで広く、開放的なコンバージョンによってバスとして
 将来的には活用されることも念頭にしている。

+After Conversion Plan s=1:200

「街の庭、街の居間」 400740 村井 一



Perspective



未利用のアーケード上の空間は、帯状の庭となる。
 居住者が行き交うこの空間に向かい、
 各々単一のフロアとして堆積してきたビル内部の空間は、
 連続的にコミュニティを創出することが可能となるだろう。

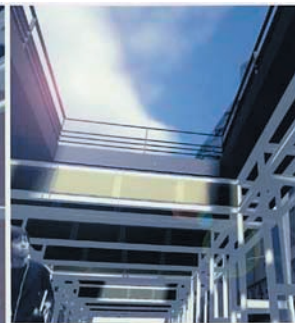


青色：住居転用部分

B-B Section s=1:300

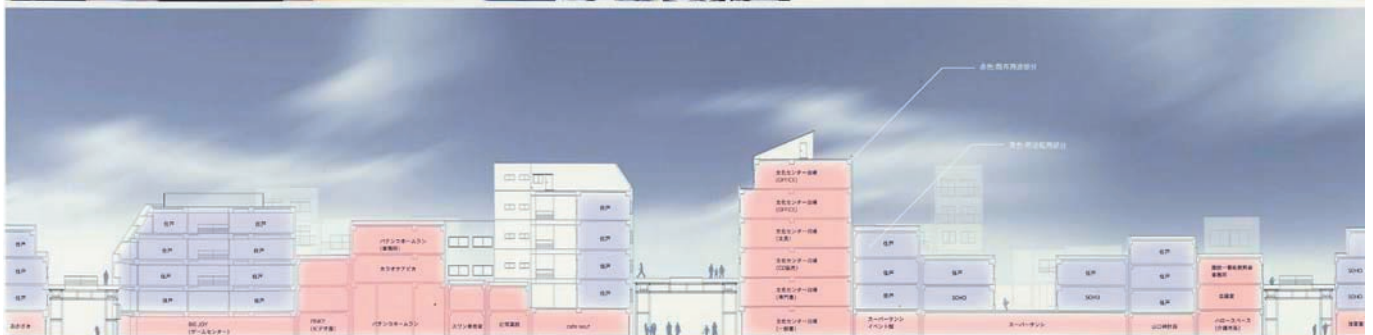
住居をつなぐ帯状の地形は"街の庭"である。

vision.



Perspective

既存の商店と結びついた滞在空間は"街の居間"となる。
 近隣のマンション居住者も含め、多くの人が住むこの空間では
 生活密着型の商業活動が行われる。
 SOHOの挿入によって、土地に根づいた事業者も定住し、街の活力の一部となる。
 様々な活動の関係の場となるこの空間が、街の主体性を生み出してゆくのかもれない。



C-C Section s=1:200

商業と結びついた滞在空間は"街の居間"である。

vision.

「街の庭、街の居間」 400740 村井 一



商業と居住の複合、街を"住みこなす"生活がそこにはある。 **life.**

